

(5)

産業部の目標

地域の特性と資源をいかした 活力あるまちにします

少子化や若者の流出などによる労働力の減少、不安定な社会経済情勢、デジタル化などの課題に積極的に取り組んでまいります。

各産業において、本市の優位性や豊富な地域資源を活用し、関係人口の増加や産業連携による新たなビジネスモデルの構築を図ります。

また、起業・創業や新規就農、UIJ ターンへの支援により、若者をはじめ、それぞれの世代が生きいきと働き、活躍できるまちづくりを進めます。

【実現に向けて】

観光課

- 訪れたいまち「白河」を目指します。

商工課

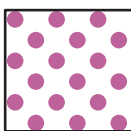
- 多様な人材が地域で活躍し、将来に渡り賑わいと活力にあふれたまちを目指します。

農政課

- 多様な形態や担い手による、地域農業の発展を目指します。

農林整備課

- 地域資源を活用し、安定した農林業を行えるようにします。



観光課

めざすまちの姿

訪れたいまち「白河」を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

新型コロナウイルスの影響により全国的に観光客が大幅に減少しているものの、徐々に回復の兆しが見え始めており、本市へ訪れる観光客の増加を目指すため、本市の魅力をこれまで以上にPRする必要があります。

このことから、美しい自然と歴史や文化があふれる白河の様々な魅力に更に磨きをかけ、「訪れてみたい」「また来たい」と感じてもらえるまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 本市を含む県南地域は、首都圏や東北地方からの交通アクセスに恵まれている一方、那須地域や会津地域などの主要観光地を目指す人が多いことから、旅行者の滞在時間を延長させ、市内での消費を促すことが重要です。
- 本地域の知名度は全国的にもまだ低いことから、県南9市町村をはじめ、栃木県那須町や会津地域などと広域的な連携による地域情報の発信が重要です。
- 現在、日本に訪れる外国人観光客が求める「日本観光」の趣向に変化がみられ、主要観光地を巡る動きから、四季折々の美しい自然や風景、地域特有の文化に魅力を感じて地方を訪れる観光客が増加しています。このような外国人に白河の魅力を伝え、白河へ迎え入れるインバウンド観光^{*}のPRが重要となっています。

◆ 課題を解決するための取組み

体験型観光の充実と滞在時間の延長

- 「自然」や「工芸」などをテーマとした新たな体験型の観光プログラムを充実させます。
- 南湖公園、小峰城、白河関、白河ラーメンなどの観光資源に磨きをかけ、これらを活用した観光ルートの提案など、白河の魅力を満喫できる観光メニューの開発に取り組みます。



広域的な連携と知名度の向上

- 「知ってもらう」「来ってもらう」「食べてもらう」をキーワードに、新たな観光資源のPRを行います。
- 県南地域や栃木県那須町と連携し、「狛犬」や「温泉」、「発酵食品」などの観光資源を活用したイベントの開催や SNS を活用した情報発信を行います。
- 全国的にも認知度の高い白河ラーメンと他の観光資源を組み合わせ、本市の知名度向上を目指します。

訪日外国人への PR と観光案内の多言語化

- 台湾やシンガポールなど、東南アジアを中心とした地域からの外国人観光客の獲得を目指します。
- 観光パンフレットや観光サインの多言語化を促進します。
- これまでも交流を図ってきた台湾との交流を更に深め、観光だけでなく、子供たちへの教育面や文化面での交流を促進します。
- 外国人観光客が増加している奥会津や栃木県那須町と連携し、本市を含む新たな観光ルートの構築を図ります。



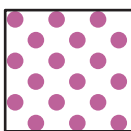
南湖フェスティバル

関連する計画

- 白河市観光振興計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画

用語解説

※ インバウンド観光：外国人が訪れてくる旅行のこと。



商工課

めざすまちの姿

多様な人材が地域で活躍し、
将来に渡り賑わいと活力にあふれたまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市は、製造品出荷額が県内第4位となっており、中小ものづくり企業の集積地となっています。しかし、全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、進学や就職による若者の大都市圏流出に歯止めがかからず、若い世代の労働力が慢性的に不足する一方、女性や高齢者が希望する仕事の内容や労働条件が少なく、雇用のミスマッチが生じています。

このことから、若者が就職したいと思える魅力的な企業が増え、また女性や高齢者など多様な人材が、それぞれの事情に応じて柔軟に働くことができ、将来に渡り安心して生活できる社会を実現したいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 少子高齢化の進行による若い世代の人口減少や、大学進学を機に市外へ転出した若者がそのまま市外で就職することなどにより、地域中小企業の慢性的な人手不足が続いていることから、中小企業の労働力を確保する必要があります。
- 慢性的な人手不足が続いており、中小企業にとって生産性向上や業務効率化に欠かせないDX（デジタルトランスフォーメーション）への取組みが必須であることから、DXへの理解と企業内での専門人材の育成等を進める必要があります。
- 少子高齢化や人口減少により労働者不足が進む中、女性の労働力の活用が地域社会や経済の維持発展に必要不可欠となっている一方で、出産や子育て、介護等によりやむを得ず離職した女性が家庭と仕事を両立しながら働ける場所が少ないことから、女性が働きやすい環境の整備や柔軟な働き方の推進が必要です。
- 若者の地元定着を図るため、生産工場だけではなく、開発、研究機能を有した拠点を含めた企業誘致活動を行っていく必要があります。
- 多様な人材が活躍できるよう、製造業以外の新しい産業を育成・支援していく必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

人手不足の解消

- （一社）産業サポート白河の「しらかわ企業データベース」や市公式LINEなどを活用し、



地域の優良企業の魅力や就職支援情報等を発信するとともに、白河商工会議所等の支援団体と連携し、地域企業の合同企業説明会を開催し、若者の地域企業への就職を後押しします。

- （一社）産業サポート白河が、地域企業への就職を希望する学生のインターンシップ受け入れ斡旋の窓口となり、企業との調整や受け入れ体制を支援し、若者の早期離職防止や地域企業への就職を促進します。
- 地域企業と協力して、子どもたちを対象としたものづくり体験教室を実施し、ものづくりの楽しさを伝え、将来のものづくり人材の育成に取り組めます。
- ICT 技術を活用したテレワークなど、時間や場所に捉われない柔軟な働き方を推進し、子育てや介護によりフルタイムでの就労が難しい女性や退職後の高齢者がその状況に応じて働くことが出来る環境づくりやキャリアアップの機会を提供していきます。
- ハローワーク白河と連携し、育児等で離職し再就職を希望する女性を支援するとともに、女性が働きやすい職場環境づくりを企業に啓発していきます。

地域企業の DX の推進

- デジタル技術を活用し、生産性向上や業務の効率化による企業価値の向上に取り組む地域の中小企業を支援します。
- 中小企業の DX を推進するため、企業のデジタル人材の育成や専門家の活用を支援します。

魅力ある企業の誘致

- 本市独自の優遇制度である「企業立地奨励金事業」を PR するとともに、本市の立地の優位性や子育て・教育環境、歴史や文化など市の魅力を発信し、成長産業やデータセンター等の誘致を進めていきます。
- サテライトオフィス&コワーキングスペース「ラ・クリエイションプラス」を活用し、IT 企業等のサテライトオフィス誘致を進めていきます。

起業・創業の推進

- （一社）産業サポート白河や白河商工会議所と連携し、起業・創業セミナーを実施するとともに、補助金や融資制度等のスタートアップから経営や販路開拓などまで切れ目のない支援により起業家を育成します。



関連する
計画

- 地域未来投資促進法に基づく基本計画
- 白河市創業支援等事業計画
- 白河市商業まちづくり基本構想
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画



農政課

めざすまちの姿

多様な形態や担い手による、
地域農業の発展を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

高齢化による担い手の不足が全国的に進むとともに、人口減少に伴う食料需要の減少、貿易の自由化、地球温暖化の影響、さらには世界情勢の不安定化を背景とした輸入依存からの見直しなど、わが国の食料生産を取り巻く環境は大きく変化しています。加えて、本県では原子力災害に伴う根強い風評が残るなど、依然として多くの課題が残っています。

こうした状況を踏まえ、本市では農業に適した自然環境や首都圏へのアクセスの良さといった特色をいかしながら、農業の生産基盤を強化するため、経営の効率化や規模拡大、新たな技術の導入、新規就農者などの将来の担い手の確保、環境に配慮した農業生産の推進に取り組み、地域における食料生産を将来にわたり継続していけるよう支えていきたいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 頻発する自然災害や価格下落などのリスクへの対応をはじめ、生産者が抱える課題が多様化・高度化していることから、県や関係機関等との連携を強化しながら、各地域や生産者の実情に即した総合的な支援を行っていく必要があります。
- 高齢化や担い手不足などを背景に生産者が減少傾向にあり、耕作放棄地の拡大が懸念されていることから、意欲ある担い手を確保するとともに農地の集積・集約化を進め、地域農業を維持していく必要があります。
- 農業分野においても環境に配慮した取組みが求められていることから、地域ぐるみで環境保全型農業の普及に取り組んでいく必要があります。
- 原子力災害に伴う風評が根強く残っていることから、市内産農産物が安全であるとともに、品質も優れた魅力的な食品であることを市内外に広く伝え、消費の面からも生産者を支援していく必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

農業生産基盤の強化

- 農業者をはじめ、農業委員会や農業協同組合等の関係機関と連携しながら優良農地の確保



や保全に努めるとともに、農地中間管理事業を効果的に活用しながら地域計画策定の取組みを支援し、意欲ある担い手への農地の集積・集約を推進します。

- 意欲ある担い手の経営規模の拡大や効率化、技術力や経営力の向上を推進するため、機械や施設の新規導入や、新しい知見を得る機会の提供などの支援を行います。
- 将来における地域農業の担い手を確保するため、新規自営や雇用、親からの継承といった様々な形態での就農を支援するとともに、本市の農業の魅力や支援策を広く周知します。

環境に配慮した農業の推進

- 環境に配慮した農業生産の拡大に向けて、生産者に対し技術的な情報や支援策の周知を図ります。
- 農業分野における環境保全について、国の「みどりの食料システム戦略※」を参考としながら、生産・流通・消費といった食料システム全体を通じた理解を得ることで具体的な取組みにつなげるため、広く周知を図ります。

市内産農産物の魅力発信と消費拡大

- 市内産の農産物について、安全性と品質をはじめとした魅力を知ってもらい、消費の拡大を図るため、市内外の消費者に広くPRするとともに、新たな加工品の開発や販路拡大に向けた取組みを支援し、生産と消費の両面から振興を図ります。



- 白河農業振興地域整備計画
- 白河市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画

用語解説

※ みどりの食料システム戦略：国内農林水産業の生産力強化や持続可能性の向上を目指し、2021年5月に農林水産省が策定した食料生産の方針のこと。



農林整備課

めざすまちの姿

地域資源を活用し、
安定した農林業を行えるようにします。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

全国的に農業用施設の老朽化が懸念されている中、本市においても施設の老朽化が進行しており、また営農者の高齢化・担い手不足等も相まって、農業経営を取り巻く環境が危機的状況にあります。

このことから、今後も持続的に安心した農業経営を維持させる環境を整備する必要があると考えています。

また、全国的に森林は、戦後造成された人工林の多くが本格的な木材の利用期を迎えており、この豊富な森林資源を循環利用することにより、国土の保全や地球温暖化防止等の森林の有する多面的機能が確保されます。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 農業用施設の老朽化が進む中、市内営農者が引き続き、営農を続けていきたいと思えるような環境を維持していく必要があります。
- 地域の組織単位で営農に取り組んでいる人々が地域の特性をいかし、今後も地域に対する愛着や誇りを醸成していくため、市が支援していく必要があります。
- 森林環境に対する意識啓発や、林業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していくことが必要です。

◆ 課題を解決するための取組み

農業用施設長寿命化の推進

- 農業用施設の機能保全計画に基づき、施設の更新補修及び維持を実施していきます。
- 結支援事業等を活用し、U字溝等の資材を地域に提供し、地域のニーズに合った施設維持管理に努めていきます。

農業の地域組織の取組み支援

- 農地の持つ多面的機能を維持していくため、保全活動に取り組む団体・組織の継続支援と新規取組みへの支援を行います。
- 中山間地で農業を行う人のため、活動組織の継続支援と新規取組者への支援を行います。

未来の森づくりの取組み支援

- 森林環境譲与税やふくしま森林再生事業、広葉樹林再生事業を活用し、森林環境の保全・整備に取り組んでいきます。
- 有害鳥獣被害対策や外来害虫対策に取り組んでいきます。



結支援事業

関連する 計画

- 農業水路等長寿命化・防災減災事業 長寿命化・防災減災計画
- 白河市多面的機能支払交付金事業実施計画
- 白河市中山間直接支払交付金事業実施計画
- 白河市森林再生計画
- 白河市里山・広葉樹林再生プラン
- 白河市鳥獣被害防止計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画